

## 畜産GAPの推進について

～ 畜産GAPへの参加を進め、消費者の信頼に応えましょう！ ～

農林水産省 生産局 畜産部 畜産振興課

平成29年度の畜産GAPやGAP取得チャレンジシステムの取組状況について、紹介します。

### 畜産におけるGAPの取り組みについて

畜産における農業生産工程管理(Good Agricultural Practice)とは

農業生産活動の持続性を確保するため、

①**食品安全・家畜衛生・環境保全・労働安全・アニマルウェルフェアに関する法令等を順守するための点検項目を定め**、②**これらの実施、記録、点検、評価を繰り返しつつ生産工程の管理や改善を行う取り組みのこと。**

#### 畜産におけるGAPの推進状況

- ・平成29年3月にJGAP家畜・畜産物の基準書を公表、12月に団体認証基準を追加。
- ・JGAP審査認証機関の認定(2社)、審査員補(59名)・審査員(10名)・指導員(365名)を養成(3月末時点)し、8月から認証を開始。
- ・平成29年8月にGAP取得チャレンジシステムを運用開始。
- ・都道府県庁、JA経済連等を対象とした要請活動、全国畜産団体、生産者へのGAP説明会を開催。
- ・流通・小売・消費者へのGAP普及のため、GAP認証拡大パートナー全国会議を開催(3回)
- ・平成30年度も、指導員・審査員の養成、農家の認証必要経費の助成等を予定。(概算決定額1.9億円)

<GAP認証取得の状況> (30年2月末時点 公表分)

JGAP家畜・畜産物:17農場 GAP取得チャレンジシステム:11農場 グローバルG.A.P.:1農場

### 畜産GAP拡大推進加速化事業(新規)

平成30年度予算概算決定額  
191(一)百万円

わが国畜産の競争力強化を図る観点から、日本版畜産GAPの普及・推進体制の強化を図るための指導員等の育成、GAP認証取得、GAP認証取得の準備段階の取り組みとなる「GAP取得チャレンジシステム」の普及等への支援を行います。

#### 1 日本版畜産GAP認証取得支援

日本版畜産GAPの普及・推進体制の強化を図るための指導員等の育成、GAP認証取得等の取り組みを支援

#### 3 日本版畜産GAP認証の拡大支援

日本版畜産GAPの認証取得拡大のための他の認証スキームとの差分審査の検討、国際規格化に向けた情報収集等の取り組みを支援

#### 2 認証農場生産の畜産物流通対策

日本版畜産GAPにより生産された畜産物の別流通方策の検討の取り組みを支援

#### 4 GAP取得チャレンジシステム等の推進

「GAP取得チャレンジシステム」の普及等を推進するとともに動物福祉に配慮した飼養管理の普及を図るための研修会の開催等の取り組みを支援

【補助率】定額  
【事業実施主体】1の事業は民間団体等、2、3、4の事業は民間団体

○畜産生産者の点検活動を通じた生産管理の向上、効率性の向上、経営意識の向上  
○家畜・畜産物の生産工程の見える化を通じた消費者の信頼確保

詳細は、農林水産省HPに掲載しています。

[http://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/chikusan\\_gap.html](http://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/chikusan_gap.html)